

さっぽろ
自転車散歩

Ⅲ号



きたの やっさん



・ 温泉とジンギスカンも 白石サイクリングロード



走行距離 大通→自転車の駅 往復 35km

大通→北広島駅 往復 45km

豊平川コースと並んで札幌市の代表格のサイクリングコースである。このコースについては、ホームページで数多く紹介されている。

往復とも同じコースを辿るので、自転車散歩というより自転車ジョギングコースとも言えよう。といっても、歩行者・自転車専用道路であるから、散策やジョギングの人々に危険な目に遭わせることは避けたい。

大通から南1条通を東にとり、一条大橋を渡り六叉路で南郷通に入り、信号を渡って進むとサイクリングロード入り口がある。約3km位。

このアプローチはロード整備の最後につくられたようで、気持ちよい走行が楽しめる。野幌まで続くこのサイクリングロードは旧国鉄千歳線の跡地を利用した



虹の橋



橋の欄干のデザイン

もので、昭和 48 年に開通した。現在は北広島までつながっている。

一般道とはほとんどが立体交差となっているので、信号の煩わしさからは解放される。

ただ、一般道路下を潜るのでアップダウンの繰り返しが多い。

人家に取り囲まれたコースとはいえ、植栽も豊かで、春はサクラ・ライラック、秋は紅葉が美しい。その季節になると、散策の人も多くなる。入り口から 5km 程でアサヒビールの工場敷地内を通過、7km 程で厚別川に架かる虹

の橋に至る。橋のたもとから斜路を下り厚別川沿いの路を辿ることも出来る。10km 程で大谷地、ショッピングセンターが目の前なので買い物に便利。

1.5km 程で青葉中央公園に到着。直交して厚別中央通りが通っている。野幌森林公園へのルートになるところだ。やがて樹林がひととき目立つところを通過する。厚別南緑地である。ようやく郊外の雰囲気漂う。

入り口から 10km ほどである。そこを抜けると視界



黄葉時期のサイクリングロード



エルフィンロードを行く

が開ける。

厚別東通と直交する橋が架かっている。上野幌である。左下に JR 上野幌の駅が見える。

この先は北広島市が整備したサイクリングロードで、名称も「エルフィンロード」と変わる。

エルフィンとは北広島市のイメージマスコットで「小妖精」のこと。自然豊かな市のイメージの象徴である。

よく整備されたロードをひた走る。

ここから JR 千歳線と平行して野幌丘陵地帯を走るので眺めもよいし、自然あふれる丘陵の雰囲気を楽しめる。入り口から

約 14km（スタートから 17km）で自転車の駅に到着。

平屋建ての駅舎がひっそりと建っている。トイレと休憩だけの場所だ。

ここから北広島駅まで道は続いている。約 5km の道のりである。健脚向きには往復 10km は気にならない



自転車の駅

であろう。一度、北広島駅まで足を延ばしたが、老齢の身とて帰りの登りに疲労感を覚え最近はこの駅を終着駅としている。

ここからは往路を引き返すだけであるが、余りにも芸がない。昼飯をかねてちょっと寄

り道も考えた。例の上野幌の橋を渡りきったところで、下の平和通りに下る斜路がある。そこから厚別東通を左に折れ平和通りを北広島方面に向かうと「天然温泉森のゆ」がある。レストランで昼食を摂り、露天風呂でゆっくりと疲れを癒すのもよい。時間に余裕のある人は隣接するパークゴルフを楽しむことができる。

あまり、コースから外れたくない人は、アサヒビール園で、美味しいジンギスカンを食べるコースもある。

ロードの舗装がアスファルトからタイルに変わったところに一般道路に出るアプローチがある。アサヒビール工場の端に出る。工場の塀に沿って走りレストランに駆け込むことができる。

・ 札幌ドームから白石サイクリングロード周遊コース



札幌ドーム広場にて

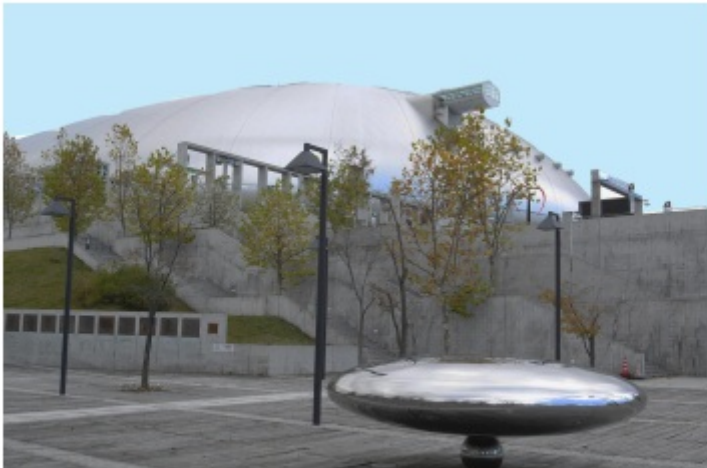
激しいので歩道利用が安全。

札幌の東を周遊するコースである。日本ハムの根拠地札幌ドーム、美しが丘、平岡の公園をへて白石サイクリングロードへと周遊する走行距離33km～40km弱のコースである。

前半、7kmは国道36号線を利用する。交通量が

駅前通りを行き、すすきの交差点を左折、36号線を千歳方面へ。札幌から千歳への大動脈だから交通量も多い。

車では、ほとんど気にならないが自転車で走ると札幌も起伏が多いことに気づく。しかし、単調な道で



ドームと無重力の玉石



無重力の玉石

ある。やがて札幌ドームの銀色の屋根が見えてくる。対岸に渡って広場にバイクを停める。札幌ドームが出来てから10年になるが、今では市民にすっかり定着した。

建設構想当時、候補地として東札幌はじめ数カ所が争っていたが、広大な敷地と交通の便という一見矛盾した条件も、地下鉄東西線の福住開通によって解決され、現在地に落ち着いたとのこと。

もと農業試験所の一角を利用しているから緑豊かである。

野球やサッカー観戦以外に、ドームには見所がある。ドーム外周の彫刻群である。外周部は8000本の木が茂り、「アートグローブ」と名付けられているようだ。周りには24の彫刻があるようだ。



ドームの回廊



森の中

近くにある作品だけでも見てまわりたい。自転車を駐めた広場から始まり周囲ぐるりと彫刻が取り巻いているようだ。まずは広場に鎮座しているのが「無重力の玉石」である。

大きな金属の円盤である。ゆるやかなカーブの鏡面に風景が映り

込んでいるのが面白くシャッターを切ってしまう。

また、題名通りに、大きな円盤を手で楽に揺らすことが出来るところが面白い。

ドームへの階段を上がって北ゲートへ。テラスにも作品が。「森の中」という彫刻。このテラスからの眺めもさることながら

延々と続く回廊も印象的である。構内の枕木を敷いた路を進むとゲート近くに駐輪場がある。ちょっと小高いところ

にも彫刻が置かれていたり、池の真ん中に鳥のような彫刻がある。



Roll Awaythe Stone



みつけたくほみに結実する

ドームの南端はサッカーの練習場になっており、子どもたちの歓声が聞こえることもあり、ここは絶好の散策場所のようだ。

ドーム誕生以前のこの付近の観光スポットは”羊ヶ丘”であった。

いまでも健在である。ここから、羊とクラーク博士に逢いに行くには 3km の登り路と 500 円の入園料

が待っている。コースに加えたい向きは 36 号線ルートと別のルートで先に見学した方がよいだろう。

36 号線沿いの通用口を出て隣接する北海道農業研究センターを探訪しよう。ドームの地主さんである。以前は農業試験所として親し

まれていた。

入り口で許可をもらい延々と続くカラ松並木の路を走る。センター内は都心から 8km 圏内とは思えないほどのどかである。また、花見時や紅葉の時期の隠れたスポットでもある。



農業研究センターのカラ松並木



農業研究センター圃場（HPより）

・大曲と入り組んでいたが、この付近を開発した”パストラルタウン美しが丘”のネーミングが住民の意思で、広域を含めて、そのまま正式地名となった経緯がある。ここまで約 14km。ここでちょっと寄り道して住宅見物。

センターを出て北広島・千歳方面に向かうが、ここでは歩道走行、ゆるやかな下り路なので走行に気を遣う。もっとも歩行者は滅多にいないが、脇の道路から飛び出す車の方が危ない。この先、真栄の交差点が一番低い地点である。ここから約 1km のゆるい登りとなる。下りで楽をした分、老齢の身にはちょっとこたえる。

登り切ったところが厚別中央道路との交差点である。地名は美しが丘に変わる。この付近は昭和 60 年頃開発された住宅地である。

旧地名は真栄・平岡



建築家設計の建売住宅群



パストラルタウン美しが丘の開発時に北海道の4人の建築家が建売住宅に挑戦した一郭がある。交差点を右折して学校裏のもう一筋裏の道路両側に並んでいる。25年余り経って落ち着いた雰囲気醸し出している。厚別中央通りを中心に羊ヶ丘通までの開発区域には、これらの建築家の手になる住宅を含めた建物や北欧スタイルの住宅が散在している。見物を終えたら引き返して36号線を横断して厚別中央通りを新札幌に向かって走る。

厚中（厚別中央道路の略）は比較的新しいので歩道幅員も充分ある。それこそ自転車の歩道走行可の標識が欲しいところである。ここから次の分岐点である青葉中央公園まではゆるい下り坂である。人影は殆どないし、ときには歩道をカラスが散歩していたりする。思わずダウンヒルを楽しんでしまいそうになる。



平岡樹芸センター庭園



梅見シーズンの平岡公園

1km ほどで右手にイオン平岡ショッピングセンターが見えてくる。横長のショッピングセンターを過ぎた次の交差点を左折して平岡樹芸センターを訪れる。800m ばかり進み左折すると正門がある。

紅葉の名所として有名とのこと。造園業を営んでいた竹沢さんという人が 3ha の土地と樹木を札幌市に寄贈し、昭和 59 年に開園した。3000 本のオンコがあるそうだ。幾何学模様の庭園はどこかを連想させる。日本庭園も併設されている。

ここから元、来た道に戻ると右側には平岡

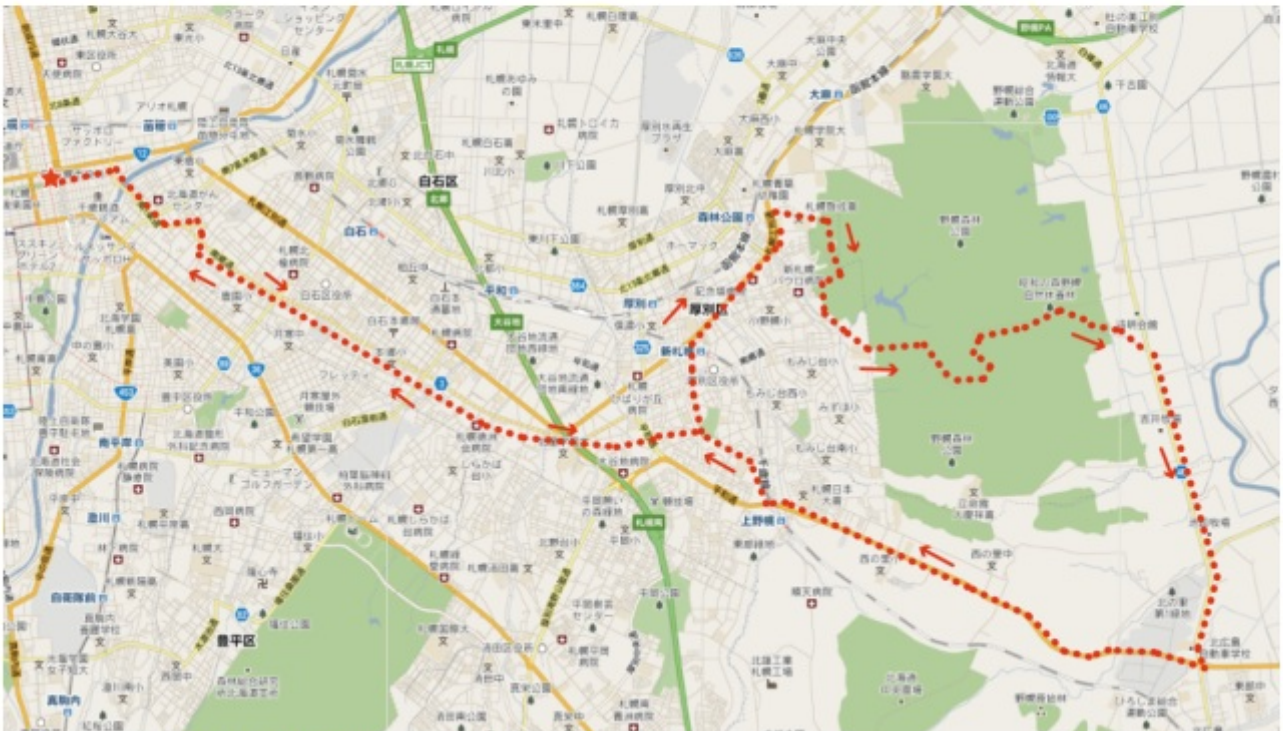
公園が見える。規模は 70ha で平成 8 年開園。梅林公園として 5 月初旬の開花時には多くの人を訪れる。

一周するにはかなり時間を要する。この辺りから 3km 弱で次の公園、青葉中央公園が右手見えてくる。

白石サイクリングロードとの出会い地点である。

ここまで約 20km 強。公園で一休みしたら左折してサイクリングロードに入ろう。歩行者・自転車専用道路であり、ウォーキングや散歩の人も結構多い。一般道と交差するところは下を潜るため、アップダウンが激しいがシーズンには花見・紅葉見物が出来る。ここから一気に大通まで 12km の道のりを走り抜ける。

・ 野幌森林公園コース



走行距離 35km ~ 50km



青葉中央公園よりサイクリングロードを見る

と交わる青葉中央公園に向かう。厚中の下を潜るので行き過ぎないように右手に公園が見えたら小休止。出発点からおよそ11から12km。

日本でも有数の自然公園である。北海道開拓百年を記念して1968年（昭和43年）に誕生した。

散歩コースは様々に選べる。地図は周遊コースを示している。

スタート地点の大通から白石サイクリングロードに入り、厚別中央通り



森林公園正面入り口



北海道百年記念塔



北海道開拓記念館

ここから厚別中央通りを北上し新札幌方面に向かう1.5kmくらいで国道5号線、札幌江別通りに出る。右折して江別通りに向かう。

やがて森林公園入り口が右側に見える。600mばかり登り切ったところが入り口である。スタートより、およそ16km。

右側は広い駐車場。正面は幅広い階段状のステージに案内所がある。ここで案内パンフレットを貰う。

ここから目的によってルートが変わる。自然の中での施設見学・自然観察やバードウォッチング・自転車散歩中心の走行などいろいろだ。

まずは施設見学。

目の前に聳えているのが百年記念塔。設計コンペ当選案で実現、当時の最新材料の不銹鋼である



開拓の村入り口



馬車鉄道

コルテン鋼を使い 1970 年（昭和 45 年）に完成した。年数が経ち痛んでいたが修復された。雪の結晶の六角形の平面で北海道の発展をイメージする二次曲線が美しい。

広場から右折して北海道開拓記念館に向かう。塔と同じ時期に建設され、公共建築百選にも選ばれた重厚な建物である。

展示内容は開拓の歴史、アイヌ民族の文化、歴史などを展示している。

なんとと言っても人気があるのが北海道開拓の村である。開拓時代の建物 52 棟が移設された野外博

物館で春ともなると訪れる人も多くなる。

ここで U ターンすれば約 35km の行程である。

案内地図は、ここから先に進み一旦、外に出るコースを示している。

T 字路で川に沿い進み、橋を渡り南郷通の終点に出る。都心と反対の方向に進み北星大学付属高校を左手にみて、森林公園を横断する道路に入る。

後は道なりである。うっそうとした自然林の中の道

で未舗装が多かった記憶がある。途中で T 字路に突き当たる右に行けば西の里に出る。今回は左に曲がると程なく昭和の森自然休養林と休憩所がある。開拓の村からおよそ 6km、一休みして進むと広い道路に突き当たる。道道 46 号線である。右折して 6km ほど進むと国道 274 号線（平和通）に出る。右折して 7km ほど千歳線のガードを潜るとサイクリングロードに架かる橋（白石サイクリングロード参照）が見える。この斜路を上って白石サイクリングロードをさっぽろ都心部に向けて走る。

全行程およそ 50km 位であろう。

自然観察で森林公園の林道を散歩するコースは様々だが、当然、砂利道でそれなりに高低差もあり、クロスバイクでは苦勞するだろう。現在、自転車乗り入れの可否は判らない。

・モエレ沼公園、さとらんどコース



走行距離 35km

札幌北東部に二つの施設が隣接してある。モエレ沼公園とさとらんどである。モエレ沼公園は2005年（平成17年）開園、さとらんどは1995年（平成7年）開園と比較的新しい施設である。

特にモエレ沼公園はイサムノグチの最後の作品で、



豊平川サイクリングロード



ガラスのピラミッドを望む

「大地を彫刻する」というコンセプトで作られている。札幌芸術の森とならんで札幌市の誇る文化の施設だと思う。

モエシ沼公園では毎年、ツールド北海道の最終ステージの場となっており、世界から強豪選手が集い、自転車とは特に縁が深い場所である。

大通から南一条通を走り一条大橋手前からサイクリングロードに入り、雁来大橋に向かう。約 9km 程度の道のりである。

大橋のたもとから 275 号線を都心部の方へ戻

ると向かいに、ホームック・ツルハの縦長巨大看板が見えてくる。そこを右折する。

殺風景な一本道を 1km 走り川を渡り左折し川に沿った道路を走る。行く手にはモエシ沼公園の標高 62m のモエシ山が見える。1.5km ほどで右折しモエシ沼公園に入る。アプローチ路の左側の事務所で案内パンフを貰おう。100 ヘクタールの広大な敷地なのでレンタサイ



テトラマウンド



ガラスのピラミッド内部

登りを含めて 55km を平均時速

クルも用意されている。

すぐ右側のガラスのピラミッドはぜひ、見学したい。展望も素晴らしい。

ケータリングの軽食も用意され、屋外でのんびりとランチを楽しめる。

園内は自由に走りまわりイサムノグチデザインの作品を見てまわろう。時間が合えば海の噴水のイベントを見ることが出来る。とにかく、この公園、外周を一周するだけで 6km 近くあるので自転車散歩にはもってこいだ。

ツールド北海道は山

46km 弱で走ると言うから全く別の世界である。



さとらんど風景

一通り見終わったら隣の「さとらんど」に寄ってみよう。札幌市の農業体験交流施設で緑豊かな中に農畜産関係の施設や農園が点在する。

ここから正門を抜けて伏古拓北通に出て帰途に着く。中央分離帯のある広々と

した四車線の道路である。単調な道が続く札幌新道の高架を潜り、伏古公園

脇を走ると、環状通との交差点である。伏古拓北通はこの先、急に狭くなってしまふ。「さとらんど」から5kmほどの道のりである。ここで右折して環状通を走る。環状通をどこまでも真っ直ぐ3kmほど走ると北海道大学構内に突き当たる。大通りまであとわずかだ。

あとがき

後期高齢者になってクロスバイクに切り替えて4年間、気の向くまま、寄り道を楽しみながら、札幌近郊を走り回った記録です。

これからも股関節のご機嫌を伺いながら、デジカメ片手に楽しみたいと思う今日このごろです。

